



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三木 逸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長(氏名) 小田島 淳悦 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	11,014	△3.8	246	71.6	278	32.9	198	60.5
2018年12月期第1四半期	11,445	0.9	143	△68.1	209	△56.1	123	△60.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 64百万円(—%) 2018年12月期第1四半期 △423百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	19.40	—
2018年12月期第1四半期	12.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	50,417	23,387	46.3
2018年12月期	51,277	23,734	46.2

参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 23,364百万円 2018年12月期 23,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,100	△0.2	420	△7.5	500	△21.5	720	76.5	70.42
通期	46,700	2.3	1,010	35.6	1,110	17.5	1,150	67.2	112.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	10,306,895株	2018年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	81,859株	2018年12月期	81,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	10,225,036株	2018年12月期 1 Q	10,297,249株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、中国経済の失速や日米の貿易摩擦の激化が懸念され、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましては、景気は緩やかに回復しているものの、市場の成熟化等による需要の伸び悩みと、物価上昇の影響から堅実な消費志向が継続しており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、既存製品の品質向上と市場ニーズに即応した高付加価値製品の開発に努めるとともに、国内外の展示会への出展等を通じて市場開拓と用途開拓に取り組み、収益の改善に努めました。

この結果、売上高は110億1千4百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は2億4千6百万円(前年同期比71.6%増)、経常利益は2億7千8百万円(前年同期比32.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千8百万円(前年同期比60.5%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、主要取引先である製パン・製菓市場の需要の伸び悩みにより、主力製品のマーガリン・ショートニングの売上が伸びず苦戦を強いられました。また、エネルギーコストや物流コストの上昇も収益を圧迫しました。

このような状況の下、高付加価値製品の拡販に努めるとともに、さまざまなコスト削減に取り組み、収益の確保に努めましたが厳しい環境を打開するに至らず、売上高は72億9千4百万円(前年同期比5.2%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業利益1千7百万円)となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、合成樹脂、界面活性剤、塗料、ゴム、トイレタリー、潤滑油等の業界向けに脂肪酸およびグリセリンの拡販に努めましたが、米中貿易摩擦の影響から、中国向けの繊維用脂肪酸が低調に推移しました。

界面活性剤関連製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤が、国内製紙メーカーでの需要の最盛期に備えた増産と中国への輸出の増加に伴い伸長しました。また、化粧品分野の化粧品用クレンジング基剤および環境改善分野の飛灰用重金属処理剤も順調に推移しました。

その結果、売上高は36億8千2百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益につきましては、2億2千7百万円(前年同期比108.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億5千9百万円減の504億1千7百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金5億2千3百万円、流動資産のその他1億7千8百万円、機械装置及び運搬具(純額)1億3千3百万円、投資有価証券1億6千8百万円であり、主な増加は有形固定資産のその他(純額)2億1千1百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億1千2百万円減の270億3千万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金4億5千7百万円、電子記録債務3千2百万円、借入金1億9千5百万円、退職給付に係る負債7千9百万円であり、主な増加は流動負債のその他2億7千1百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円減の233億8千7百万円となりました。主な減少は利益剰余金2億1千3百万円、その他有価証券評価差額金1億2千5百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の46.2%から46.3%に増加しました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年4月23日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,128	5,111
受取手形及び売掛金	11,991	11,468
電子記録債権	1,561	1,596
商品及び製品	2,407	2,320
仕掛品	564	576
原材料及び貯蔵品	2,591	2,651
その他	419	241
貸倒引当金	△58	△63
流動資産合計	24,607	23,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,455	4,371
機械装置及び運搬具（純額）	4,516	4,383
土地	5,325	5,325
その他（純額）	718	930
有形固定資産合計	15,015	15,010
無形固定資産		
その他	280	282
無形固定資産合計	280	282
投資その他の資産		
投資有価証券	8,952	8,783
退職給付に係る資産	2,242	2,260
その他	203	203
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	11,372	11,221
固定資産合計	26,669	26,514
資産合計	51,277	50,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,774	8,316
電子記録債務	1,027	994
短期借入金	3,975	3,925
1年内返済予定の長期借入金	3,581	3,581
未払法人税等	88	71
その他の引当金	7	23
その他	2,194	2,465
流動負債合計	19,647	19,377
固定負債		
長期借入金	3,726	3,580
退職給付に係る負債	2,291	2,212
役員退職慰労引当金	89	89
役員株式給付引当金	6	11
その他	1,780	1,758
固定負債合計	7,895	7,652
負債合計	27,542	27,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	6,098	5,885
自己株式	△124	△124
株主資本合計	20,480	20,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,874	2,749
退職給付に係る調整累計額	354	347
その他の包括利益累計額合計	3,229	3,096
非支配株主持分	24	23
純資産合計	23,734	23,387
負債純資産合計	51,277	50,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	11,445	11,014
売上原価	9,757	9,206
売上総利益	1,688	1,808
販売費及び一般管理費	1,545	1,561
営業利益	143	246
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	36	50
持分法による投資利益	14	13
その他	47	21
営業外収益合計	99	85
営業外費用		
支払利息	27	38
その他	5	14
営業外費用合計	33	53
経常利益	209	278
特別損失		
有形固定資産除却損	27	4
特別損失合計	27	4
税金等調整前四半期純利益	182	273
法人税、住民税及び事業税	3	42
法人税等調整額	55	34
法人税等合計	59	76
四半期純利益	123	196
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	123	198

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	123	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525	△125
退職給付に係る調整額	△21	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	-
その他の包括利益合計	△547	△132
四半期包括利益	△423	64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△423	65
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,696	3,716	11,413	32	11,445	—	11,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	—	44	36	80	△80	—
計	7,741	3,716	11,457	68	11,526	△80	11,445
セグメント利益	17	109	126	17	143	—	143

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,294	3,682	10,976	37	11,014	—	11,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	—	34	35	70	△70	—
計	7,328	3,682	11,011	73	11,084	△70	11,014
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1	227	226	20	246	—	246

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社の連結子会社であるミヨシ商事株式会社は、2019年4月23日開催の取締役会において、以下のとおり、同社が保有する固定資産を譲渡することを決議し、同日付けで契約を締結いたしました。

1. 譲渡の理由

賃貸用事業不動産として使用している当該固定資産を、経営資源の効率的活用を図るため、譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

譲渡資産	土地 (329.73㎡) 及び建物 (1,107.19㎡)
所在地	東京都渋谷区代々木二丁目27番15号
譲渡益	542百万円
現況	賃貸用事業不動産(ミヨシ商事株式会社高栄ビル)

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内事業法人であります。譲渡先の意向により詳細につきましては開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者等として特記すべき事項はありません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	2019年4月23日
契約締結日	2019年4月23日
物件引渡期日	2019年5月31日(予定)

5. 損益に与える影響

当該固定資産の譲渡により、2019年12月期第2四半期連結会計期間において、特別利益(有形固定資産売却益)542百万円を計上する予定であります。